

超薄型操舵ロボット

Halo™



Halo ロボットは、ダイレクトドライブで中心が空洞となっている操舵ロボットで、多様な操舵入力を高精度で再現できるため、高品質のデータを取得できます。



ステアリング、ブレーキ、アクセラレータ機能を同時に制御可能な構成に対応



Windowsで起動する使いやすい制御ソフトウェア



低摩擦 (0.9 Nm未満) によりEuro NCAP TB038要件を満たし、LSS試験に最適



車両搭載の12または24 V電源が電力を供給 (または内部電源で1時間起動可)



ロボットチャンネル、アナログ入力、およびモーションパックデータによるデータ取得



設置所要時間は通常 30 分未満



低摩擦 (0.9 Nm未満) によりEuro NCAP TB038要件を満たし、LSS試験に最適



ロボットが無効になっている場合は、車両を通常通りに運転することが可能



オプション CAN I/O



経路追従試験を実行するためのアップグレード可能

Halo は一時的なハンドリング動作、ADAS試験、法定試験（フィッシュフック、Sine-dwellなど）、操向システムの評価、耐久性、誤用試験を含むさまざまな試験で必要となる、正確で制御された入力を車両の操向システムに適用するために使用します。これは、経路追従システムと無人運転システムの両方で使用できます。

モーターのローターに組み込まれたラップアラウンドカーボンファイバー操向リムがモーターに組み込まれているため、Haloが無効な状態では通常の運転が可能になり、中心空洞によりエアバッグは有効なままの状態となります。これにより、テストドライバーの安全性が強化され、ステアリングコラムアダプターのカスタマイズ製作が不要になります。しかし、最も恩恵を受けるのは、ドライバーのエアバッグの取り外しがESCシステムによって検出されて、車両の動的限界の変化を引き起こす場合がある近代的な車両です。

Haloでは、外部データ収集システムの使用が可能であり、マルチチャネルデータ収集も組み込まれているため、車両に必要なハードウェアを全体的に最小限に抑えます。AB Dynamics操舵ロボットは、ペダル、ギアチェンジ、クラッチロボットと連携することが可能であるため、無人運転ソリューションを構成します。

ソフトウェア



Haloのユーザーインターフェースソフトウェアは、Windowsで稼働する標準のPCであればどこでも実行することができます。このソフトウェアは、ドライバーが新しい試験を標準試験のライブラリから選択することですばやく簡単に定義して実行することを可能にします。これらには、正弦、正弦蛇行、ステップおよびランプ入力が含まれます。Sine-dwell、ロール安定性（フィッシュフック、Jターンなどに使用）、追いつき、フリックといったような特殊試験も幅広く提供されています。さらに、試験プロフィールは、学習モードでのドライバーによる直接入力で記録したり、ASCIIファイルに保存されたデータから再生することもできます。ロボットは外部入力信号を追従することもできます。

仕様

特徴

直接駆動モーター	✓
エアバッグを装着した状態では中心空洞	✓
Sine-dwell / フィッシュフックに適合	✓
経路追従に適合	✓
最大トルク (短時間)	90 Nm at 500°/s
定格トルク	75 Nm at 1500°/s
最高速度	10 Nmまでで 2500°/秒
モーター質量	9 kg

AB Dynamics について

AB Dynamicsは、より安全で、より効率的、かつ持続可能な車両の開発を促進する車両試験および検証ソリューションの世界的な供給者です。AB Dynamics グループ企業の一員として、弊社では お客様の仮想環境における開発および試験の実施、走行コースでの検証、そして公道における車両評価を可能にする支援を提供しています。

詳細問い合わせ先:
www.abdynamics.com
info@abdynamics.com

© 2022 AB Dynamics. 禁無断転載。AB Dynamics®およびHalo™は、英国およびその他の地域におけるAB Dynamics plcまたはその子会社の商標および資産です。提供されるシステム、コンポーネント、方法論、およびソフトウェアは、特許権および設計権の対象となる場合があります。この情報は誠意を持って提供されるものですが、これらの情報に関する保証は提供されておらず、AB Dynamics plcまたはその子会社に契約上の拘束を適用したり、その他の確約条件が確立されるものと見なされるものではありません。

